



2022年8月12日

各位

会社名 ブロードマインド株式会社
代表者名 代表取締役社長 伊藤 清
 (コード番号：7343 東証グロース)
問合せ先 取締役 鶴沢 敬太
 (TEL 03-6687-1318)

株式会社クレディセゾンとの資本業務提携に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、下記のとおり、株式会社クレディセゾン（以下、「クレディセゾン」といいます。）との間で資本業務提携を行うこと（以下、「本資本業務提携」といいます。）を決議し、同社との間で資本業務提携契約を締結しましたので、お知らせいたします。

記

1. 資本業務提携の背景及び目的

当社は「金融の力を解き放つ」をパーパスに、「金融に倫理を、人生に自由を」をミッションに、フィナンシャルパートナー事業を展開しております。その中で、より多くの方が経済的な側面から人生における選択の自由を得て頂くべく、単なる商品提供ではなく、当社と縁のあった全てのお客様の「金融リテラシー」を向上させることを当社ならではの価値とし、サービスを提供してまいりました。

このような中、クレディセゾンとは、これまで様々な協業を通じて信頼関係を構築してきた経緯があり、クレディセゾンの顧客に対してフィナンシャルパートナーサービスを提供してまいりました。

当社は、今後もお客様の金融リテラシーを向上させる取組を加速させていきたいと考えておりますが、クレディセゾン及び同社グループ企業の持つ個人及び法人マーケットへの更なる展開により、当社理念の実現並びに成長戦略の推進を加速させることが期待できるものと考えております。

一方でクレディセゾンは、2022年5月13日付けで公表された中期経営ビジョンで「総合生活サービスグループへの転換」を掲げており、ペイメントサービスに軸足を置きながらも、金融領域全般においては様々な顧客層に応じた多様なサービス提供を通じ、付加価値の向上に取り組んでおります。クレディセゾンに対しては、当社が手掛けてきた「ライフプランニングを土台としたワンストップサービス」という価値を様々な顧客層に、様々な形態で提供することで、クレディセゾンが目指す金融サービス領域での価値向上に寄与できるものと考えております。

このように、「一人でも多くの方に、真に顧客本位の金融サービスを届ける」という当社と、様々な領域での価値を統合し、「サービス先端企業」の実現を目指すクレディセゾンとは理念を共有している他、強みを補完し合う関係にあると考えております。

以上より、クレディセゾンを当社理念の実現・成長戦略推進のための重要なパートナーとして位置づけ、強固なパートナーシップの下での既存サービスの更なる展開、及び新たなモデルへのチャレンジを目的に、今回の資本業務提携に至りました。

2. 資本業務提携の内容等

(1) 業務提携の内容

両グループの経営資源・ノウハウを最大限活用し、両グループの事業の育成・拡大を目的に、以下の事項

の実施を目指すことを合意しており、今後詳細について協議を進めてまいります。

- ・ セゾンカード会員向けファイナンシャルアドバイスサービスの提供拡大
保険を中心に、証券・住宅ローン・不動産に関するご相談に対し、ワンストップで対応する中で蓄積された知見のほか、コールセンターの運営、オンライン相談に関するノウハウ等の当社の強みを活かしながら、クレディセゾンがカード会員向けに提供する金融サービスの価値向上を図ります。
- ・ プレミアムカード会員向けサービスの拡充
クレディセゾンが発行するプレミアムカードである、セゾンプラチナ・アメリカンエクスプレス®カードを中心に、一定以上の収入・資産をお持ちの方向けの有料資産管理サービスである「ファイナンシャル・セカンドオピニオンサービス」の提供を、将来のカード付帯サービス化も視野に入れながら拡大してまいります。
- ・ ファイナンシャル・ウェルビーイング領域での新規事業開発
従業員のエンゲージメント・生産性向上を目的とし「健康経営」に取り組む企業が増える中で、一歩進んだ概念として「ウェルビーイング」の注目も高まっております。その1つの要素である「ファイナンシャル・ウェルビーイング」に着目し、新たなマーケット創出に向けた取り組みを共同で推進してまいります。
クレディセゾンのグループ企業・取引企業を始め、ファイナンシャル・ウェルビーイング・プログラム「ブロっこり」の導入企業数の拡大を図ると同時に、プログラムのブラッシュアップでも共同で取り組みながら、金融教育というテーマのもとで、一人でも多くの方の金融リテラシー向上に寄与してまいります。
- ・ 株式会社セゾン保険サービスとの新たなモデルでの協業
クレディセゾンのグループ機関代理店である株式会社セゾン保険サービスの代理店事業を支援。グループの個人・法人マーケットに対する共同でのアプローチを通じて、株式会社セゾン保険サービス並びに、当社フィナンシャルパートナー事業双方の収益力の向上を図ってまいります。
以上のように、機関代理店との協業という当社にとって新たなビジネスモデルの構築にもチャレンジしてまいります。

(2) 相手方に新たに取得される株式の数及び発行済株式数に対する割合

クレディセゾンは、新たに当社の株式1,000,000株を取得する予定であり、当社の発行済株式数に占める割合は18.98%となる見込みです。クレディセゾンによる当社株式の取得方法は、市場外での相対取引による取得であり、これらについては、本日別途公表いたしました「株式の売出し及び主要株主の異動に関するお知らせ」をご参照ください。

(注) 発行済株式数に占める割合は、2022年3月31日現在における発行済株式数5,395,000株から、同日現在の自己株式数125,000株を除いた5,270,000株を基準に算出し、小数点以下第3位を四捨五入しております。

3. 資本業務提携の相手先の概要

(1)	名 称	株式会社クレディセゾン
(2)	所 在 地	東京都豊島区東池袋三丁目1番1号
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役(兼)社長執行役員 C00 水野 克己
(4)	事 業 内 容	ペイメント事業、リース事業、ファイナンス事業、不動産関連事業、エンタテインメント事業
(5)	資 本 金	75,929 百万円 (2022 年 3 月 31 日現在)
(6)	設 立 年 月 日	1951 年 5 月 1 日

(7)	大株主及び持株比率	日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口） 24.99%		
(8)	上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	該当事項はありません。	
		人的関係	該当事項はありません。	
		取引関係	住宅ローンビジネス（フラット35）及び保険ビジネスにおいて、当社がクレディセゾンの代理店になる等の提携・協業関係にあります。	
		関連当事者への該当状況	該当事項はありません。	
(9)	当該会社の最近3年間の連結経営成績及び連結財政状態			
	決算期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期
	親会社の所有者に帰属する持分	484,670	530,971	562,387
	連結総資産	3,357,229	3,409,247	3,610,778
	1株当たり親会社所有者帰属持分（円）	3,102.26	3,397.92	3,598.22
	純収益	311,410	282,625	299,017
	事業利益	36,184	48,352	52,336
	税引前利益	27,458	50,915	49,936
	親会社の所有者に帰属する当期利益	22,863	36,132	35,375
	親会社の所有者に帰属する当期包括利益	11,389	53,342	38,426
	基本的1株当たり当期利益（円）	143.43	231.24	226.35
	1株当たり配当金（円）	45.00	45.00	55.00

（単位：百万円。特記しているものを除く。）

4. 日程

(1)	取締役会決議日	2022年8月12日
(2)	契約締結日	2022年8月12日
(3)	事業開始日	2022年8月12日（予定）

5. 今後の見通し

当社は、本資本業務提携が2023年3月期の当社連結業績に与える影響は軽微であると考えておりますが、中長期的には当社グループの業績及び企業価値の向上に資するものと考えており、今後の進展により公表すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以上